



1_ 代々受け継がれてきたリズムを力強く奏でる 2_ 宮司による祝詞 3_ 参拝する家族 4_ 真剣な表情で舞う稚児たち 5・6_ 何度もぶつかり合う山車と神輿(大町・社元) 7_ 鹿島神社の鳥居に並ぶ4町若連の提灯 8_ 神輿の「宮入り」で祭りの盛り上がりは最高潮に 9_ 神輿が鹿島神社へ還御され、お互いの健闘をたたえ合う若連衆 10_ 鹿島神社下で「剣の舞」を奉納する神職 11_ 山車と一緒に練り歩く小若連くん 12_ 軽快なお囃子が祭りを盛り上げる 13_ 渾身の力を込めて山車を押す(錦町)



国見町を代表する秋祭り「鹿島神社例大祭」が10月24日から26日にかけて、旧奥州街道藤田宿を中心に行われました。祭りの期間中は、軽快なお囃子の音色とともに神輿と4町若連の山車や稚児行列が町内を練り歩き、多くの人を魅了しました。

26日の夜には、祭り最大の見どころである「もみ合い」が行われました。2台の山車が、神輿を挟んで激しくぶつかり合う様子を間近で見ようと、多くの見物客が沿道に詰めかけました。

若連衆の勇壮な掛け声と、山車と神輿が何度もぶつかり合う轟音が響き渡るたびに、大きな歓声と拍手が上がり、祭りの盛り上がりは最高潮に。大勢の観客が見守るなか、神輿が鹿島神社へ還御を終えると、町は静寂に包まれ、祭りの幕が下ろされました。

鹿島神社例大祭

国見町重要無形文化財

